

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年1月30日 (2014.1.30)

【公開番号】特開2013-74936(P2013-74936A)

【公開日】平成25年4月25日 (2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2011-215549(P2011-215549)

【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/071 (2010.01)

C 0 7 K 14/78 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 Z N A Q

C 1 2 N 5/00 2 0 2 A

C 0 7 K 14/78

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月11日 (2013.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 9】

それぞれのスポンジにおいて、3箇所では血管の有無に関しては一致した結果となり、b F G F 存在下でC B E 3スポンジ中に血管形成が確認でき、b F G F 存在下の動物ゼラチンスポンジ、b F G F 非存在下でのC B E 3スポンジでは、スポンジ内に血管形成は見られなかった。平均すると、b F G F 非存在下のC B E 3スポンジでは、血管0本で面積も $0\mu\text{m}^2$ 、b F G F 存在下の動物ゼラチンスポンジでは、血管0本で面積も $0\mu\text{m}^2$ 、b F G F 存在下のC B E 3スポンジでは、血管は4.2本で面積は $2079\mu\text{m}^2$ であった。b F G F 存在下のC B E 3スポンジ中では、有意に血管が形成されていることが窺える。